

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
会長 齋藤 昇一
事務局長 黒澤 敏行
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
印刷所 ㈱ 有伸商会
TEL (011)814-6211

第29回 読書感想画中央コンクール 第5回 全道コンクール 審査終了

第29回読書感想画中央コンクール・第5回読書感想画全道コンクールの審査が、1月6日(土)、毎日新聞社北海道支社で行われました。今年も800点を超える作品が応募されました。小学校低学年・小学校高学年・中学校の3部門それぞれから最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の作品が、高等学校から優秀賞の作品が選ばれました。

最優秀賞



「あなのなかには、いろんなものがある。」 札幌市立本郷小学校2年
『あなのなかには…』 中岡れい
(レベッカ・コップ 作/絵)



「平和を願って」 函館市立本通小学校6年
『ヒロシマの歌』 藤元 空
(今西 祐行 作/遠藤 てるよ 画)



「仲間～永久保存の笑顔」 札幌市立簾舞中学校1年
『夜間中学へようこそ』 伊田 紗雪
(山本 悦子 作)

最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

《最優秀賞》

※あなのなかには、いろいろなものがある。	札幌市本郷小学校	2年	中岡れい
※平和を願って	函館市立本通小学校	6年	藤元空
※仲間～永久保存の笑顔	札幌市立簾舞中学校	1年	伊田紗雪

《優秀賞》

※にぎやかな海の中	札幌市立鴻城小学校	2年	佐藤匠真
※あなのなかには、カラスがいる	札幌市立元町小学校	1年	春井悠樹
楽しいパーティー	札幌市立大谷地小学校	4年	齋川万結
※「魔女の宅急便」より	札幌市立上白石小学校	5年	佐藤碧咲
※救いの糸	東川町立東川中学校	2年	庄内梨乃
大阪最期の夏	札幌市立琴似中学校	1年	工藤将斗
1人の兵隊	札幌光星高等学校	1年	加藤ひより

《優良賞》

※せかい一のため8さん	函館市立本通小学校	2年	門田亜采
大きいシロナガスクジラ	札幌市立元町小学校	1年	峰崎直太郎
たちなおるでんでん虫	札幌市立北園小学校	3年	菅原亜乃
まもれ！かんきょう	函館市立金堀小学校	3年	近藤リエル
山ではたらく	札幌市立上白石小学校	4年	眞田昂生
子ども達の人気者	札幌市立大谷地小学校	4年	佐藤優菜
しぶやの駅の前で主人の帰りを待つハチ	札幌市立大谷地小学校	4年	黒澤聖地
絵本へ帰る道	函館市立石崎小学校	5年	木村優希
沈む人物	札幌市立琴似中学校	2年	安藤里紗
欠けていた勇氣	札幌市立琴似中学校	1年	小賀坂紬
蝶の噂	斜里町立斜里中学校	3年	森七瀬
黒い童話	小樽市立北陵中学校	2年	横澤優香

《学校賞》

○小学校の部	函館市立本通小学校	○中学校の部	札幌市立琴似中学校
○高等学校の部	該当校なし		

※=全国行き作品

第29回読書感想画中央コンクール・第5回全道コンクール [総評]

出会いの感動があふれる絵に魅せられて

北海道造形教育連盟 東 尚典
(札幌市立有明小学校 校長)

今年で5回の節目となる全道コンクールには、全道各地から870点の作品が集まりました。出品作品、出品校数ともここ数年ほぼ一定してきており、本コンクールが全道の多くの子どもたち、保護者や学校関係の皆様にも広く支持されてきていることが分かります。主催する学校図書館協議会と毎日新聞社には、本事業への熱意ある取組と改善への弛まぬご努力に対しまして心より敬意を表します。

審査会では、子どもたちの発達段階を考慮しながら、小1から高3までを3つのブロックに分けて選考を行いました。小学校低学年では、好きな場面を想像したり、お話からイメージを膨らませて自分のお気に入りの世界を描いたりしていました。作品から、自分や友達、先生とお話ししながら、夢中になって筆やクレヨンをはらしている姿が浮かんできました。小学校高学年では、選ぶ本も描く対象も広がり、一場面を描くだけでなく、物語の主題をとらえ画面構成や表現方法を工夫している作品も見られました。中学校・高等学校では、高い技能を生かして作品の主題を抽象的に表したり、作品への憧れや思い入れを繊細かつこだわりをもって表現したりしていました。どの学年でも、読書を通じて味わった素敵な経験が子どもたちの心を揺さぶり、みずみずしい感性を刺激して、豊かな表現となって結実していました。作品を手にしながらかいたときの子どもの思いを語り合ったり、本を読むことで味わった感動に共感したり、我々審査員も素敵で貴重な時間を過ごすことができました。

子どもたちには、読書を通じて「素敵な出会い」がますます増え、その感動を友達や先生と分かち合いながら自分を豊かにしたり、絵に表すことを通して創造することの楽しさや喜びを実感したりする機会に、これからも数多く恵まれますよう願っています。そして、「人」だからこそもっている「個性の豊かさ」や「みずみずしい感性」を、今後も自らの力で一層磨いていってくれることを切に期待しています。

奨励賞 受賞者一覧

奨励賞(小低)

函館市本通小	1年	田中	晴貴
函館市本通小	1年	種村	綜真
函館市本通小	1年	鈴木	崇太
函館市本通小	1年	高野	にこ
函館市本通小	1年	藤山	良輝
函館市本通小	1年	立見	起一
函館市本通小	1年	池田	桜
函館市本通小	1年	渡辺	実玲
函館市本通小	1年	荒井	遥仁
函館市本通小	1年	福藤	咲姫
函館市本通小	1年	紀國	琥太郎
函館市本通小	1年	中谷	真彩
札幌市元町小	1年	北村	颯志
札幌市元町小	1年	大山	唯人
札幌市元町小	1年	岡本	琉衣
札幌市元町小	1年	廣田	衣咲
札幌市元町小	1年	茂木	茜音
札幌市元町小	1年	草間	ひまり
札幌市元町小	1年	田中	竜煌
札幌市元町小	1年	上園	優衣
札幌市元町小	1年	齋藤	優那
札幌市元町小	1年	米谷	雪華
札幌市元町小	1年	魚田	陽
札幌市元町小	1年	伊藤	沙綾
札幌市元町小	1年	大田	美結
札幌市元町小	1年	工藤	寛菜
札幌市元町小	1年	石井	梨緒奈
札幌市元町小	1年	笠谷	真歩
札幌市元町小	1年	渡部	一登
札幌市元町小	1年	打田	凌聖
札幌市元町小	1年	町田	雄飛
札幌市元町小	1年	小濱	迅
札幌市元町小	1年	中川	美莉
札幌市元町小	1年	島谷	龍舞
札幌市元町小	1年	石井	瑞穂
札幌市円山小	1年	福川	皓貴
札幌市本郷小	1年	東出	和々
札幌市本郷小	1年	谷村	柚咲
札幌市本郷小	1年	安永	湊飛
札幌市本郷小	1年	細坂	唯人
札幌市本郷小	1年	古沢	煌來
札幌市本郷小	1年	南	好葉
函館市北星小	1年	田島	英里
函館市北星小	1年	梶原	安穩
苫小牧市明野小	1年	山平	志保
登別市幌別東小	2年	成澤	結紀乃
苫小牧市泉野小	2年	近藤	芦羽
札幌市本郷小	2年	阪本	悠翔
札幌市本郷小	2年	関	翔琉
札幌市本郷小	2年	坪田	汐音
札幌市本郷小	2年	芝	嶺志
札幌市本郷小	2年	福野	遥都
札幌市本郷小	2年	奈良	壮流
札幌市本郷小	2年	羽田野	龍千
札幌市本郷小	2年	中田	真人

札幌市本郷小	2年	藤本	湊
札幌市本郷小	2年	工藤	椿心
札幌市鴻城小	2年	伊藤	心湖
札幌市鴻城小	2年	渡邊	芽依
札幌市鴻城小	2年	槌本	真音
札幌市鴻城小	2年	高田	結月
札幌市鴻城小	2年	鈴木	桜心
札幌市鴻城小	2年	稲垣	眠兎
札幌市鴻城小	2年	笠井	健太郎
札幌市鴻城小	2年	熊野	ゆず
札幌市鴻城小	2年	山口	亜琴
札幌市鴻城小	2年	長岐	まあや
札幌市鴻城小	2年	小倉	颯太
札幌市鴻城小	2年	染谷	夏菜
札幌市鴻城小	2年	今村	奏斗
札幌市鴻城小	2年	中澤	愛奈
札幌市鴻城小	2年	坂内	友星
札幌市鴻城小	2年	木村	大地
札幌市鴻城小	2年	下村	杏
札幌市鴻城小	2年	藪田	照平
札幌市鴻城小	2年	宮永	皓輝
札幌市鴻城小	2年	栗田	陽梨
札幌市鴻城小	2年	奥野	紗希
札幌市鴻城小	2年	増澤	実音
函館市桔梗小	2年	吉田	惺永
函館市桔梗小	2年	齊藤	大暉
函館市桔梗小	2年	吉田	琥稀
函館市桔梗小	2年	野原	悠斗
函館市桔梗小	2年	西村	彩希
函館市桔梗小	2年	石川	茜
函館市桔梗小	2年	中里	碧
函館市桔梗小	2年	佐藤	颯
函館市桔梗小	2年	池田	華乃音
函館市桔梗小	2年	遠山	在
函館市桔梗小	2年	横滝	司
函館市桔梗小	2年	長嶺	健成
函館市本通小	2年	齊藤	凜
函館市本通小	2年	大野	奈々子
函館市本通小	2年	林	祢希
函館市本通小	2年	平田	彩華
函館市本通小	2年	北館	雫
函館市本通小	2年	石和	珠青
函館市本通小	2年	渡部	宏人
函館市本通小	2年	酒井	遥花
函館市本通小	2年	岡	妃真莉
函館市本通小	2年	小笠原	杏莉
函館市本通小	2年	水上	夢唯
函館市本通小	2年	荒木	愛菜
函館市本通小	2年	泊谷	優希奈
函館市本通小	2年	山口	晴菜
函館市本通小	2年	成田	杏華
札幌市上白石小	3年	児島	実咲
札幌市上白石小	3年	千田	彩乃
札幌市上白石小	3年	木村	珠梨
札幌市上白石小	3年	糸川	想羅
札幌市上白石小	3年	安部	未莉亜

札幌市上白石小	3年	齊	まりあ
函館市金掘小	3年	後藤	ちひろ
函館市金掘小	3年	渡邊	小春
函館市金掘小	3年	高瀬	玲
函館市金掘小	3年	井上	綱
函館市金掘小	3年	阿部	弦太
函館市金掘小	3年	佐藤	悠叶
函館市金掘小	3年	末永	万結
函館市金掘小	3年	高松	優心
札幌市北園小	3年	柳澤	亮太郎
札幌市北園小	3年	北谷	心響
札幌市北園小	3年	中瀬	乃綾
札幌市北園小	3年	西川	尚輝
札幌市北園小	3年	板井	梨愛
札幌市北園小	3年	澤口	功太
札幌市北園小	3年	酒井	蓮斗
札幌市北園小	3年	鱒淵	美沙希
札幌市北園小	3年	今野	美音
札幌市北園小	3年	岡野	桜来
札幌市北園小	3年	田内	夢乃
札幌市北園小	3年	濱田	大輝
札幌市北園小	3年	渡邊	龍馬
札幌市北園小	3年	本間	穂乃佳
札幌市北園小	3年	工藤	虎一
札幌市北園小	3年	依田	紗幸
札幌市北園小	3年	山崎	杏奈
函館市石崎小	3年	宮本	龍恩
砂川市空知太小	3年	高野	咲空
砂川市空知太小	3年	川名	權朋
砂川市空知太小	3年	石橋	響
砂川市空知太小	3年	山井	稀乃夏

奨励賞(小高)

札幌市上白石小	4年	三井	梓真
札幌市上白石小	4年	高橋	壯一朗
札幌市上白石小	4年	清原	さくら
札幌市上白石小	4年	横山	咲香
札幌市上白石小	4年	宮野	遼
岩見沢市栗沢小	4年	萩生	田優花
函館市石崎小	5年	小石	聖夜
函館市石崎小	5年	畠山	涼
函館市石崎小	5年	松井	琢徒
札幌市上白石小	5年	中川	理筑
札幌市上白石小	5年	鶴ヶ崎	はるる
札幌市上白石小	5年	梅津	葵
札幌市上白石小	5年	村田	凜羽
札幌市上白石小	5年	縄野	佑

奨励賞(中学)

札幌市琴似中	1年	高橋	沙季
札幌市琴似中	1年	奥田	かのん
札幌市琴似中	1年	小林	依那
札幌市琴似中	2年	服部	真佳
札幌市琴似中	2年	浅井	美海
札幌市琴似中	2年	川上	美羽
斜里町斜里中	2年	八幡	優希
斜里町斜里中	2年	石井	桃
斜里町斜里中	3年	古舘	春花

第50回 北海道学校図書館研修講座 日時：2018.1.9 会場：かでの2・7 次期学習指導要領と学校図書館の役割の重要性

講演：文部科学省初等中等教育局児童生徒課長 坪田知広氏

講師紹介（北海道学校図書館協会 会長 齋藤 昇一）

坪田知広氏は福井市のご出身で1992年文部省に入省されました。文部省社会教育課法規係長、国際企画課企画調整係長等をご歴任の後、1999年には警察庁へも出向されております。また、三重県教育委員会次長(学校教育分野担当)、国土交通省出向、観光庁観光地域振興課地域競争力強化支援室長も歴任され、幅広くご活躍されました。文部科学省文部科学広報官の後、現職となられましたので、学校図書館について行政側からの示唆に富むお話を伺いできるものと、ご講演をお願いすることとなりました。

毎年お正月明けのこの時期に「北海道学校図書館研修講座」が開催され、学校図書館の管理・運営から図書館クリニック・レファレンスなど多種多様な講義・実習・討議の講座が実施されるが、その各講座に先駆けて行われるのが、学校図書館に造詣の深い方をお招きしての講演である。今年度は文部科学省初等中等教育局児童生徒課長でいらっしゃる坪田知広先生に、「次期学習指導要領と学校図書館の役割の重要性」と題してお話をいただいた。

はじめに、これまでの学習指導要領の変遷に簡単にふれたあと、小学校では平成32年度、中学校では平成33年度にはじまる次期学習指導要領改訂のポイントと改訂の方向性について詳しくお話しいただいた。未来社会を切り拓くための資質・能力を学校ではこれまでより一層確実に育成すること・引き続き確かな学力を育成することなど、今回の改訂の基本的な考え方をまず確認したあと、新しい時代に必要となるであろう資質・能力をふまえての教科・科目の新設や目標・内容の見直しを行った上で、生きて働く知識や技能を主体的・対話的に習得することによって、未来社会に対応した人間として社会の担い手になっていけることをねらっていると話しされた。この内容をお聞きして、「これは学校図書館の活用・機能充実がなければ、指導要領改訂の目的は達成されないだろう。これからは学校図書館が学びの柱を担っていかなければならない。」と強く思い始めた。

坪田先生は続いて、下記の教育内容の主な改善事項を紹介、それに伴う学校図書館の有効な利用・活用も一部示唆された。

◆教育内容の主な改善事項

- ①言語能力の確実な育成…語彙の確実な習得、情報理解、表現、レポート作成、議論 他
- ②理数教育の充実…時数増加充実、観察・実験の充実、データ収集・分析、統計教育 他
- ③伝統・文化の教育…伝統的な遊び・文化・古典・年中行事・郷土音楽への親しみ 他
- ④道徳教育の充実…特別教科化、道徳的価値、多面的・多角的に思考・議論
- ⑤体験活動の充実…生命の有限性、自然の大切さ、協働の重要性、宿泊体験、職場体験 他
- ⑥外国語教育の充実…「外国語活動」「外国語科」の導入、外国語能力の向上 他
- ⑦幼稚園教育要領・初等中等教育の一貫した学びの充実…「スタートカリキュラム」の充実 他
- ⑧主権者教育、消費者教育、防災・安全教育等の充実…租税の役割、政治への関心、防災 他
- ⑨情報活用能力の育成…コンピュータ活用学習、活用スキル習得、プログラミング教育 他
- ⑩部活動
- ⑪子供たちの発達支援…キャリア教育充実、学習困難・不登校児童生徒等の学校図書館活用 他

例えば①②であれば各種辞書の活用や図鑑、年鑑・統計などの書籍が配架されていることは必須だし、③⑤を事前調査するなら当該の伝統・文化に関する資料図書は大変歓迎されるであろう。もちろんこれからの時代を考えると、⑥を満たすものとして英語に関する辞書、絵本、地図などは確実に必要なものと言えるであろう。未来社会に向かう教育を考えていくと、学校図書館の充実はもう必要不可欠なものだと強く感じる。⑪の「子供たちの発達支援」に関わっては、不登校傾向の子どもや発達障害のある子どもにとって学校図書館が『憩いの場：オアシス』になっている例は少なくない。(坪田先生もそうお話しになっていた。)

坪田先生はさらに次期学習指導要領の記述に注目し、学校図書館の積極的な活用といった観点から、活用場面を取り上げてお話をされた。小学校国語科低学年のC. 読むことの内容に関して、情報は常に新しく発信されるのでそれに対応した図書資料を随時更新することが重要であることや、小学校国語科高学年のC. 読むことの内容に関しては、新聞を必ず配架して活用していくべきであることを強調された。

終盤には、学校図書館活性化に向けて必要なことはどんなことなのかを、各学校図書館の図書標準の現状や学校司書の都道府県別配置率などの資料を解析しながら述べられた。坪田先生の力説する「学校図書館の充実には蔵書・人材の双方の充実が必要である」という言葉は、以前からも、そして今現在も大きく共感する言葉である。そして「学校図書館は、いつ行っても開いている場所でなければいけない。」「校長先生は『学校図書館長』という自覚をもって管理・運営に関わっていただきたい。」という言葉には、学校図書館が生き生きとした空間でなければならないという熱い思いが伝わってくる。

今回の坪田先生のご講演の最初と最後でおっしゃられた言葉が強く印象に残る。

「いいことは今日からスタートしましょう。学校図書館を今日から活用しよう！」

さあ、私も今日から始めるぞ！

〔北海道学校図書館協会 事務局次長 村山知成（札幌市立元町小学校教諭）〕

■第50回 北海道学校図書館研修講座に参加して

実りのあった3日間

富良野市立鳥沼小学校 教諭 佐々木 純子

北海道学校図書館研修講座には、初めて参加させていただきました。

1日目の講演では、次期学習指導要領のポイントとなる主体的・対話的で深い学びには、学校図書館の活用が今まで以上に重要になってくることや学校図書館ガイドライン、地方財政措置などについて学ぶことができました。「ステップアップアニメーション」の講座では、様々な本と授業での生かし方を具体的に学ぶことができました。道徳が教科化されるにあたり、絵本の活用がますます有効になってくると思いました。



2日目の「一日まるごとクリニック」では、実際に小学校に行って、子ども達が使いやすい学校図書館について検討し、実践ワークショップを行いました。司書、司書教諭、学校司書が、それぞれの専門性を生かしながら意見を出し合って分類・整備をし、膨大な本がみるみる配架されていく過程に感動しました。一人では大変な作業もアイデアをもちよってみんなで一斉に取り組むというのは素晴らしい実践だと思いました。富良野でも行う予定なので、大変勉強になりました。この学びをいかせるようがんばります。

懇親会では、普段はなかなかお会いできないような方々とお話ができ、大変貴重な経験をさせていただきました。皆さんの学校図書館に対する熱意に思いを新たにしました。

最終日は、図書館資料の活用と指導について実践例をたくさん紹介していただき、グループ討議を行いました。学校図書館活用を年間計画や教育課程に位置づけ、先生方を巻き込み、工夫し、前向きに実践していきたいと思います。

今回の研修を通して、学校図書館は、自治体や学校によって差が大きいと改めて感じました。全ての学校図書館がその機能を生かし、子ども達が豊かに育つことができればと思います。

大変充実した3日間となりました。主催・運営・参加された皆様方に感謝いたします。

C-8 講義「学校司書の専門性を問う」を受講して

網走市嘱託職員 学校司書 高川 千花子

選択式講座はどれも魅力的ですが『学校司書の専門性を問う』を選びました。「学校図書館とは何か」では、学校司書という名前が公式に使われるようになるまでの長い道のり、先駆者の苦勞を学びました。「学校司書の仕事とは」では、学校司書あるあるという、とても楽しくまとめられた内容に時間を忘れ聞き入りました。「学校体制と教職員との連携」では、札幌市の事例が、経験の浅い私にもわかりやすく役立つ内容にまとめられていました。お忙しい中、講義の準備をして頂きました講師の皆様、北海道学校図書館協会の皆様ありがとうございました。私は最初から学校司書という職名で採用され、周りには頼れる司書教諭をはじめ、経験豊富で導いてくれる先輩司書の方々がいます。その現状がどれだけの方の苦勞から作られたのかを学べる時間でした。

この講義の核となる学校司書の専門性とは「資料のプロである」ということでした。学校司書に求められていることは授業支援・読書支援ができることです。その為には半歩先の教育を知り、資料に反映することが大切です。資料のプロになるために必要なことは「子どもたち一人ひとりと向き合う」ことです。ここから始めていくという道筋をつけてもらいました。巡回で3校を担当する為、各校の資料が頭の中で混在する未熟者ですが、整理整頓して資料のプロを目指すのがこの仕事だと理解しました。

3日間の研修受講中、ある方の急逝を知りました。ご冥福をお祈りするとともに、この研修を私が受講出来ているという事は、職場や家族など周囲の方の理解と協力によっていることに深く感謝の念にたえません。「子どもたち一人ひとりと向き合う」ということは、子どもたちの貴重な時間を頂くのだということ肝に銘じて、その時間をより良いもの出来る資料のプロにならなければならないのだと、時間の尊さ、命の尊さを胸に刻みました。

平成29年度 北海道の先生がおすすめる本

北海道指定図書



小学校低学年の部

ソーニャのめんどり



フィービー・ウォール/作
くもん出版 定価1,400円+税
大事なめんどりが襲われ、悲しみでいっぱいソーニャにお父さんが伝えたことは…命のつながり、親子の絆を描く。

おばあちゃんとバスにのって



マット・デ・ラ・ペーニャ/作 クリスチャン・ロビンソン/絵
鈴木出版 定価1,500円+税
雨の日曜日、おばあちゃんと二人でお出かけ。道々のおばあちゃんの魅力的な言葉で、ジェイの心は豊かになっていきます。

すばこ



キム・ファン/作 イ・スンウォン/絵
ほるぶ出版 定価1,500円+税
すばこは、人が作った鳥の家です。でも、何のためにだれが作ったのでしょう。すばこのはじまりと楽しみ方を伝えます。

とびっきりのともだち



エイミー・ヘスト/文 エイミー・ペイツ/絵
BL出版 定価1,400円+税
海辺でひとり遊ぶ少年の足元に寄ってきた迷子犬。愛犬を失い、しみを抱えていた少年は、子犬とふれあううちに心を開いていく。

小学校中学年の部

ひまなこなべ アイヌのむかしばなし



菅野 茂/著 どい かや/絵
あすなる書房 定価1,400円+税
アイヌではクマをしとめると、感謝の気持ちをこめて宴を開きます。万物を大切にアイヌの思いがよく描かれている美しい絵本。

このあとどうしちゃう



ヨシタケ シンスケ/作
プロンズ新社 定価1,400円+税
しんだらどうなる? どうしたい? ぼくだったら、どうしちゃうかな。いま、いきているあいだにかながえてみよう!

警察犬になったアンズ 命を救われたトイプードルの物語



鈴木 博房/著
岩崎書店 定価1,300円+税
殺処分前、訓練士に引き取られ試験に見事合格! 才能を開花させていく様子を通して、あきらめず、がんばる大切さを伝える。

小学校高学年の部

ハーネスをはずして 北海道盲導犬協会の老犬ホームのこと



辻 恵子/著
あすなる書房 定価1,300円+税
世界初の老犬ホームで働く著者が、ホーム設立のいきさつから犬とのつらい別れまで、知られざる犬との日々を綴った感動のエッセイ。

レシピにたくした料理人の夢 難病で火を使えない少年



百瀬のぶ/文 汐文社 定価1,400円+税
難病の母に代わり6歳で台所に立った昇兵。しかし彼も母と同じ病気に罹り…。形を変えても夢を追い続ける勇気の物語。

いつも心の中に



小手鞠 るい/作 金の星社 定価1,300円+税
愛する人との突然の別れ…。心を閉ざしてしまった少女が想いを乗り越えていく姿を描いた、家族の絆の物語。

中学生の部

知里幸恵物語 アイヌの「物語」を命がけで伝えた人



金治 直美/著 PHP研究所 定価1,400円+税
「アイヌ神謡集」を日本語に訳し、アイヌ文化を生涯かけて守ろうとした知里幸恵。彼女のひたむきな生き方を紹介。

駅 鈴 (はゆまのすず)



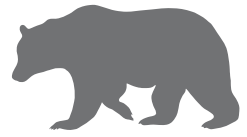
久保田 香里/作 くもん出版 定価1,600円+税
メールも電話もない時代。馬に乗り、駅鈴を鳴らし、急を告げる人々がいた。古代道路を疾走する、奈良時代の青春物語。

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

●ホームページ
北海道学校図書館協会 検索

北海道の本を読みましょう!

第63回 青少年読書感想文全道コンクール
第43回 北海道指定図書読書感想文コンクール



第59回北海道図書館大会 2017年9月8日 (金)

第4分科会「学校図書館と公共図書館のこれからの連携とは」 ～望ましい読書環境づくりに向けた学校図書館と公共図書館の在り方について～

講師：大久保 雅 人 氏
(北海道教育大学非常勤講師)

講演概要

1 はじめに

(1) これからの学校および学校図書館を考えるにあたって特に注目したいのは「学校、家庭、地域の緊密な連携」である。人口減少・少子化に関わって公共図書館がなかった市町村が図書館のある市町村と統廃合されたら、図書館ができたカウントされる。しかしその地域においてその図書館は果たして利用できるのだろうか。2017年度から『第5次学校図書館図書整備等五か年計画』がスタートした。配当はどのようにされるのであろうか。アクティブ・ラーニングについてチーム学校・連携に関して文部科学省は「チーム学校」の推進を打ち出している。この言葉の中には学校司書も入っている。



(2) 平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」結果より司書教諭発令の実態数は少ない。法律では100%配置しなければならない。文科省は予算もつけている。でも実際には現場は充実していない。学校司書はもっと少ない。今の状況で、公教育的な権利について考える時、このままで良いのだろうか。

(3) これからの学校図書館の整備充実について(報告)より2014年にあった法律改正。「学校司書を置くように努めなければならない」とされている。校長は学校図書館長であると。学校経営方針に図書館の活用を入れる。文科省は組織的に学校全体で責任を負うべきであると話している。

2 今、学校および学校図書館に求められていること

(1) 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニングの視点)を支える学校図書館 主体的・協働的な学び。これらには学校図書館が大きく寄与すべきである。学校図書館に、交流を可視化するスペース・発表活動をできるような環境が必要である。学校に司書教諭が複数配置されている必要がある。ボランティアも大勢いるべきである。学校図書館には、アクティブに学ぶ場と読書に浸る場という二つの側面がある。本の充実(調べ学習で使えること)であり、ICT教材の整備(一人一台のタブレット)であり、人(司書教諭と学校司書)の配置である。

(2) 学校図書館は「学校教育の中核」 読書センター・学習センター・情報センターとしての機能が求められている。特に家庭と地域と連携した読書活動が必要になってくる。家庭から学校にくる子ども。そしてそれらは全て地域に含まれている。子どもは社会の担い手として、未来の子どもたちの育成に関わってほしい。それが文科省の進める読書コミュニティである。開放するとは、利用してもらっただけではない。仲良くなって、子どもたちの教育に生かす。ネットワークを繋いでいく。読書という観点で、子どもがいるところで関係づくりが必要である。

3 学校図書館と公共図書館の連携の在り方

(1) 『北海道子どもの読書活動推進計画』[第三次計画]『生きる力を育む北の読書プラン』
(2) まちに図書館を～図書館を通じて人づくり・まちづくりを～ 「きりり！町村立図書館」で紹介された公立図書館の取組がある。北海道には書店のない町村が48ある。50%以上の町村で図書館がない状況にある。だから学校図書館が必要になってくる。

(3) これからの学校図書館と公共図書館の連携の在り方等について 文科省のホームページ、「子どもの読書サポーターズ会議」の中にあるポスター。人的体制・物的体制の整備、研修機会の充実が必要である。「荒川モデル」と呼ばれる事例を紹介する。学びと依頼を創造する荒川区の学校図書館。人が、本が、学びが、組織が、地域が繋がる。

4 望ましい読書環境づくりに向けて

(1) チーム(として)の学校
(2) 「連携」の捉え方～「協力」「支援」から「協働(協同)」へ 「連携」には段階がある。共存(ただ存在している。害は加えない)、共有(人を意識する)、共同(共に同じである、何かを一緒にする。自然発生で自然消滅する)、協同(目的がある。総合的な学習の時間の中にある。)、協働(次期学習指導要領ではこちら。レベルが上がっている。)。5番目の「協働」はチームの姿である。一人一人に責任がある。そして尊敬がある。その関係を子どもたちの中でもやっぺいこう。
(3) ネットワークを「読書コミュニティ」へ 連携のためには、つなぎ目が必要である。ネットワーキングからネットワークへ。『本を通して絆をつむぐ』秋田喜代美さんの本の中に書かれている。ホチキスで強制的にはなく、温かく繋いでいくネットワークが必要である。読書コミュニティがそのようなものであるべきである。

(4) まとめに代えて まずは、本があること。本を読み聞かせをしてもらうという経験があること。そこには人との関係があるから。人間関係の中に本がある必要がある。本を読みあい、語り合う経験があるということ。それは仲間があるということ。共に読書を楽しむ仲間がいること。そこに本があれば生まれる関係がある。読み聞かせが終わった後に、本がそこに残れば、その後に関係が残る。もう一度読む。これが身近な読書コミュニティの形である。人と人との関係・読書コミュニティが機能し、地域に根付いていく。そんな必要がある。

[北海道学校図書館協会 事業部 松井翔惟(札幌市立緑丘小学校教諭)]

学校図書館情報

◆平成30年度北海道学校図書館協会 定期総会の開催

- ・日時 平成30年5月12日(土)
- ・場所 北海道立道民活動センター (かでの2・7) 1060会議室
札幌市中央区北2条西7丁目
各支部の総会参加をよろしくお願いいたします。

◆全国学校図書館協議会：各県SLA事務局長会議開催

平成30年2月8日(木) 東京の学校図書館センター(公益社団法人全国学校図書館協議会事務局)にて開催され、北海道から野村事務局次長が参加しました。

2018年度活動方針、事業計画、財政再建計画についての報告がなされました。各県SLAの団体会員会費は、基準額×加盟学校数となりますが、2018年度から基準額を50円から100円にすることが確認されました。また、機関誌『学校図書館』の発行部数がピーク時の40%減となっていることから、大幅改善を進めていることと購読拡大が訴えられました。全国SLA事務局から直接購入した場合、購読数に応じて研究助成金が受けられます。団体あるいは個人での購読を広げることが、全国SLAの財政再建につながり、各県SLAの研究助成金の拡大となります。午後からの協議では、北海道から「司書教諭の12学級以上の発令を6学級以上に」「高等学校への学校司書の配置の法的措置」を強力に運動として進めることの必要性を訴えました。

翌9日(金)午前の国会議員への要望訪問では、「第五次の『学校図書館図書整備等5か年計画』の予算化」「学校司書の配置促進、専任化の実現」「司書教諭の専任化・担当時間の確保、教育委員会による発令」を中心に衆参両議員会館へ足を運び、地元である北海道選出議員をお願いをしまりました。

◆第60回北海道図書館大会のお知らせ

- ・日時 平成30年9月13日(木) 14日(金)
- ・会場 札幌市教育文化会館
- ・参加者 公共図書館・公民館・大学図書館・学校図書館・専門図書館・市町村教育委員会等関係機関の職員・図書館協議会委員・図書館に興味のある方等

北海道学校図書館協会も構成団体の一つである、北海道図書館連絡会議が主催の大会です。北海道の図書館人が一堂に会する、年に一度の大会です。学校図書館関係者の多くのご参加を期待しております。

事務局

事務局長 黒澤敏行(札幌市立琴似中学校長)
事務局校 札幌市立琴似中学校
〒063-0004 札幌市西区山の手4条2丁目1-1
TEL 011-611-1351 FAX 011-615-9617

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アミニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
TEL (011) 857-3331
FAX (011) 857-5211

◆新刊紹介

『今、世界はあぶないのか?～争いと戦争』

ルーズ・スピルズベリー 文 ハナネ・カイ 絵
大山泉 訳 佐藤学 解説

2017年10月20日 評論社 1500円+税

ISBN978-4-566-08021-8

この本は、世界人権宣言の第一条「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である……」から始まる児童書である。

今、世界で起こっていることは何か?戦争とは何か?どうして起こるのか?どうしたらやめられるのか?子どもたちにできることはないのか?など、世界中で起きている問題をみんなで考えていくシリーズの中の一冊である。シリーズは全4巻で、他に、『難民と移民』『貧困と飢餓』『差別と偏見』がある。

世界196か国の中で、この70年間戦争を行わなかった国は8か国のみで、アジアではブータンと日本だけであるということが解説に書かれており、大人も一緒に平和について考えることができる。まず、世界で起きている争いについて知り、その争いの原因を考える、そして、より良い方向に進めるために自分には何ができるのか、ということを探し続け、学び続け、行動に表すことの大切さをこの本は教えてくれる。

◆第41回全国学校図書館研究大会(富山・高岡大会)のお知らせ

「これからの学校図書館をデザインする」

- ・日時 平成30(2018)年8月8日(水)~10日(金)
 - ・会場 富山県富山市・高岡市
- 今年は、全国大会が、富山県の富山市・高岡市で開催されます。詳細の案内については、全国学校図書館協議会のHPで、ご覧ください。

編集後記

日脚が伸びて、少しずつ春は近づいておりますが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。読書感想画全道コンクールも第5回を迎え、たいへん多くの応募をいただきました。来年度もさらに充実したものとなりますよう、関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。

(編集:杉本 操 村山 知成 野村 邦重)
大久保雅人 黒澤 敏行

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>

